

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅰ-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	園芸県推進事業
目的	(1) 対象 園芸品目の生産者、関係機関、団体 (2) 意図 安定した所得確保に繋がる契約的取引の拡大を目指し、新たな販売流通体制の整備を進める。
事業概要	施設の広域の利用や売れる品目・品種の導入など広域産地化を進めるとともに、水田を活用した加工・業務用野菜など安定した所得確保に繋がる契約的取引の拡大を目指し、新たな販売流通体制を整備する。 なお、市場性とオリジナリティを兼ね備えた島根の顔となるシャインマスカット、トルコギキョウ、あすっこなどの品目は、引き続き戦略品目として位置づけ、生産・販売の一体的な戦略を展開する。特に、有望な県オリジナル品種や系統の産地への導入を図るため、優良種苗の安定供給体制を確立する。

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 主要園芸品目の契約的取引率	目標値		24.0	26.0	28.0	30.0	%
		取組目標値						
	式・定義 主要園芸品目（テラウェア、西条柿、西条柿（あんぼ柿）、メロン、キャベツ等）のJA出荷金額に占める契約的取引の割合	実績値	23.3					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,553	4,915
うち一般財源(千円)	3,553	4,915

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内の園芸産地では、高齢化の進行、農産物価格の低下等により、農家数、栽培面積、販売額が減少し、産地再生が急務となっている。これまで、空きハウスの活用、労力補充のしくみづくり、省力・低コスト技術の導入に向けて取り組んだが、園芸経営は依然として厳しい状況が続いている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

多くの園芸産地で空きハウスの利用が拡大し、空きハウスを活用した経営の拡大や新規就農者が定着しつつある。また、国補事業を活用したリースハウスの導入も進んでいる。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

園芸産地の空きハウスについては、これまで新規就農者や経営規模拡大志向農家が引き受けてきた空きハウスの老朽化に伴い、修繕が必要な空きハウスが増加しており、その活用が難しくなっている。また、経営規模拡大に必須となる労力確保・労力補充の取組も持続・継続する取組となっていない。更に新規就農する新たな担い手への技術研修についても、就農までは充実しているが、就農後の高度な栽培・経営管理技術の習得は進んでいないことが多く、思ったような所得が上がっていない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

高齢化の進展や園芸品目の価格低迷により農業所得が低下しており、農家数、面積、販売額も減少するなど、産地が疲弊している。

### ③原因を解消するための「課題」

園芸の農家経営が持続・拡大できる販売価格を実現するため、高品質な園芸品目を安定して出荷できる産地体制を強化し、また産地の希望価格にそった価格で安定的に販売できる体制構築が課題となっている。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

安定した所得確保に繋がる契約的取引の拡大を目指し、新たな販売流通体制の整備を進める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）